

令和2年度厚生労働省委託母子保健指導者養成研修会

「気になる子どもの見立てとコツ」

令和3年1月10日



あきやま子どもクリニック
秋山千枝子

運動発達の遅れ

小児科診療でしばしば経験すること

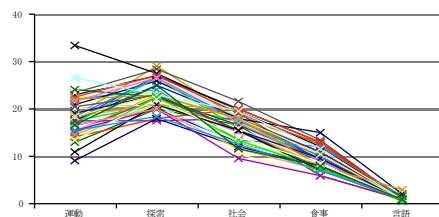
- 園で「医療機関へ行くよう」勧められたのですが...
- 学校の勉強についていけないようなのですが...
- 学校で、お友達とトラブルが多いのですが...
- 最近学校へ行かないのですが...
- 親の財布からお金を持ち出していることがあるのですが...



かかりつけ医で継続して寄り添うことができれば...

- 乳幼児健診で保護者から「育てにくさ」の相談のあった子だ
- いつもの診察で「気になっていた」子だ

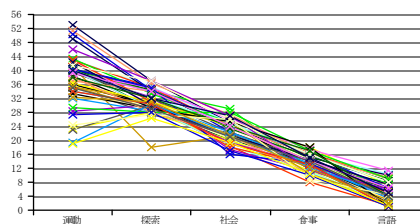
6・7ヶ月健診における津守式乳幼児精神発達診断法

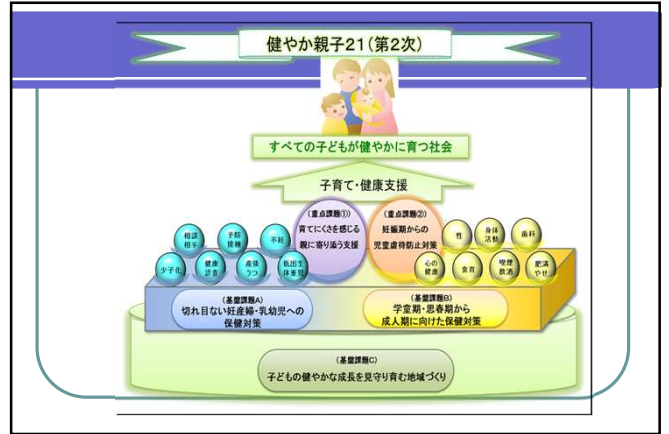
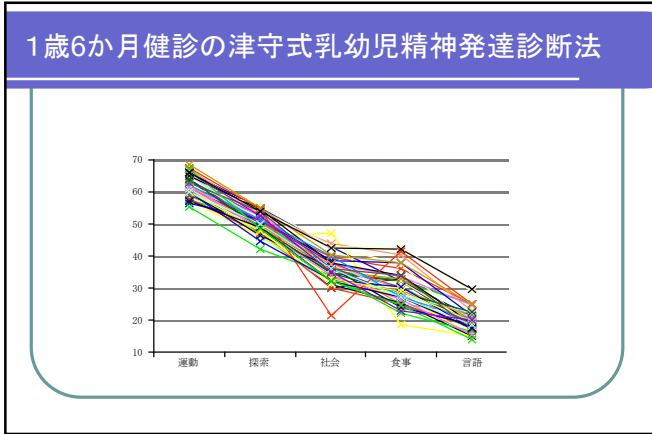


気になること

1. 運動発達の遅れ
2. 育てにくさ
3. 言葉の遅れ
4. 集団生活でのつまづき

9・10ヶ月健診の津守式乳幼児精神発達診断法

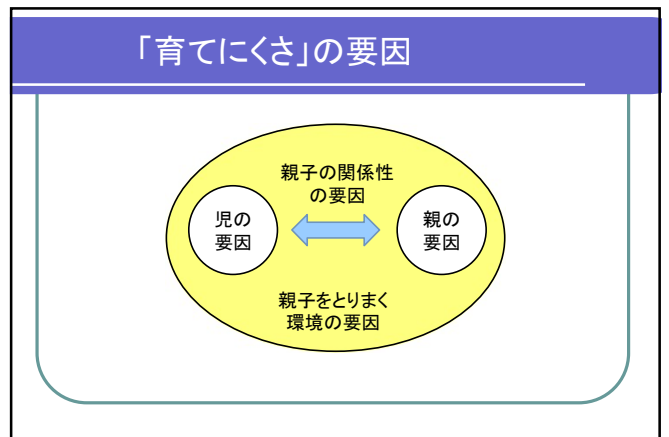




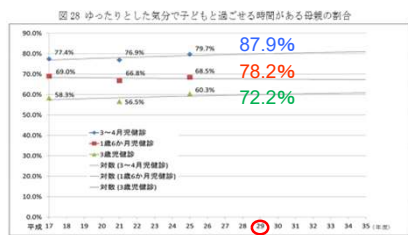
- ### 鑑別する疾患
- 運動発達遅滞
 - 脳性麻痺
 - 発達障害

- ### 「育てにくさ」の要因
- (1) 子どもに起因するもの
発達障害、先天性疾患、後天性疾患、小児特定疾患
 - (2) 親に起因するもの
月経前緊張症、産後うつ、マタニティーブルー、統合失調症などの精神障害、知的障害、子育て経験
 - (3) 親子関係に起因するもの
親子の相性、多胎児
 - (4) 親子をとりまく環境に起因するもの
貧困、父親・祖父母の協力、次の子の出産、転居

育てにくさについて



ゆったりとした気分で子どもと過ごす時間のある母親の割合



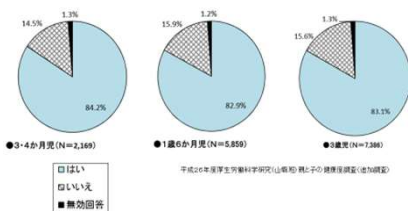
資料：平成 17 年度厚生労働省「働く中の子どもの指図のための情報システム構築と労働者の利用に関する研究」（山梨県立総合研究センター）平成 21 年度厚生労働省「働く中の子どもの指図するための母子保健指導者の活用に関する研究」（山梨県立総合研究センター）平成 25 年度厚生労働省「働く中の子どもの指図のための母子保健指導者の活用に関する研究」（山梨県立総合研究センター）

社会参加のために小児期に必要なこと

- 家庭環境の安定
- 家族の本人への状況理解
- 精神的な安定
- 成人期の社会参加を目指す教育
- 本人自身の状況理解

育てにくさを感じたときに対処できる親の割合

設問①：(①で「1. いつも感じる」もしくは「2. 時々感じる」と回答した人に対して、)育てにくさを感じた時に、相談先を知っているなど、何らかの解決する方法を知っていますか。



言葉の遅れ

乳児期の「育てにくさ」

- 1ヶ月一突っ張って抱きづらい、泣きやまない、寝ない
- 3ヶ月あまり泣かない、あまり笑わない、首が坐らない、体が柔らかすぎる、寝返りしない、寝ない
- 6ヶ月お座りができない、離乳食を食べてくれない、はいはいしない、夜泣き
- 9か月後追いをしない、はいはいやつかまり立ちをしない、手がかからず育てやすい子
- 18ヶ月かんしゃくがひどい、手をつないで歩けない、母親から離れない

鑑別する疾患

- 発達遅滞
- 言語発達遅滞
- 自閉症スペクトラム障害
- 聴覚障害

集団生活でのつまずき

注意欠如・多動症が疑われる

- ・じっとしていない
- ・かんしゃくが強い
- ・待つことが苦手
- ・集団遊びができない、
- ・聞き分けがない、

(相手や状況によって程度がかわる)

鑑別する疾患

- 自閉症スペクトラム障害
- 注意欠陥・多動性障害
- 発達性協調運動障害
- 知的発達障害

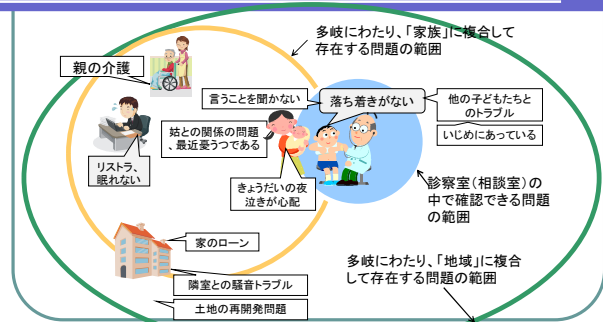
発達性協調運動障害が疑われる

- 運動が苦手
- 手先が不器用
- 着脱が苦手

自閉症スペクトラム障害が疑われる

- 集団行動が不得手
- 保育士や先生の指示が入りづらい
- 会話は不得手
- けんかが多い
- 場面の切り替えができない

子どもをとりまく状況



バイオサイコソーシャル(BPS)で考える

(身体・心理・社会)

- 子どものこと
- 親のこと
- 環境のこと



乳幼児健診を中心に



米国のBright Futures

生後から21歳までの小児とその家族に対し、
家庭・社会の環境調整
疾患の検出
疾病予防
健康増進
事前指導



<https://brightfutures.aap.org/>

3・4か月に取り組んでほしいこと

子: 離乳食の知識をもち、準備する
子: 遊びのバリエーション(絵本、身近な興味のあるおもちゃを使って遊ぶ、色々な姿勢、笑顔のやり取り)

環: 社会資源の活用(地域とつながっていく)

妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援 子育て世代包括支援センター

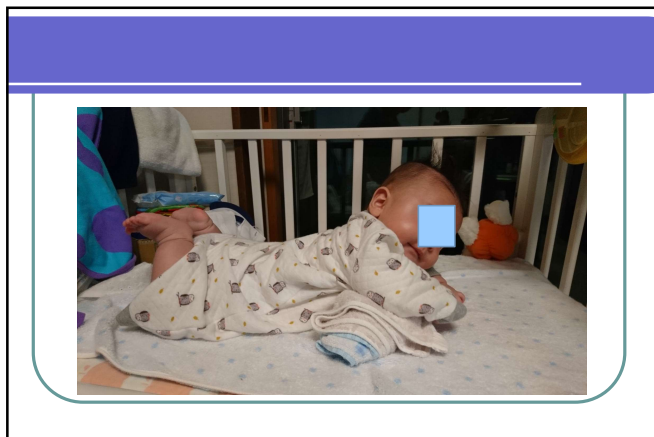
親子の問題を指摘するのではなく、寄り添って支援し、さらに事業を利用しにくい親子も利用しやすく、すべての親子が健康増進を目指し健やかな子育てができることを目指す、新たな時代に突入したといえます。

<佐藤拓代氏「母子保健からみた虐待予防」より>

3・4ヶ月健診の運動発達チェック項目

- 首の座り
- 追視
- あやし笑い

首が座っていないときは？



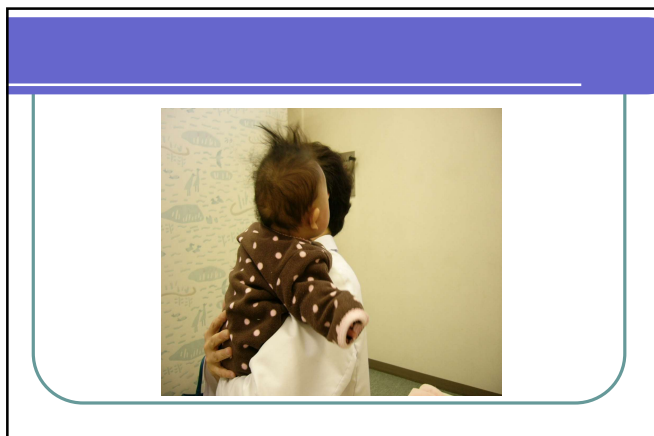
6・7か月時に取り組んでほしいこと

子: 泣きやませ方、遊びのパリエーション(触れ合い遊び、スキンシップなど)

子: 離乳食の話(パパがおいしそうに食べる)

親: 環境設定(パパが主体)、育児の確認(パパがママに教わる)

環: ミルク代、おむつ代の確認



「赤ちゃんが泣きやまない
～泣きへの対処と理解のために～」

厚生労働省作成広報啓発DVD

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/dv/nakiyamanai.html



6・7ヶ月健診の発達チェック項目

- 布かけテスト
- 坐位の形
- 引き起こしの状態

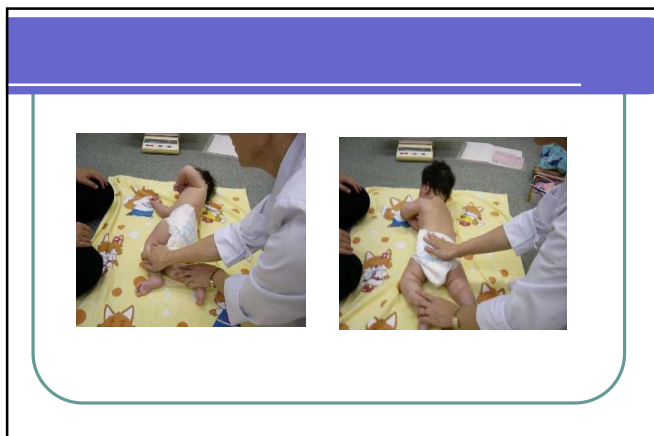
座位の形がとれないときは？



9・10ヶ月健診の発達チェック項目

- 手先の発達(積み木を持つ)
- 対人関係(周囲への関心、模倣の有無)
- 立位の準備(パラシュート反応)

はいはいをしないときは？
つかまり立ちをしないときは？
模倣しないときは？



9・10か月頃に取り組んでほしいこと

子: 離乳食の手づかみ食べ

子: ことばでのやり取り

親: 夫婦の役割確認(お願い事)

環: 家庭内の事故、

環: 安全対策の実践確認(誤飲、転倒、お風呂場)





パニック、かんしゃくへの対応
(パニックを起こしている最中)

- ・なだめないほうがいい
- ・叱ったりしない
- ・場所を他へ移す
- ・移動しているときに叱らない
- ・パニックが収まるのを待って、穏やかに声かけする
- ・いけないことの要求は通さない

模倣の促し方



1歳半健診の発達チェック項目

- 単語の数(3つ)
- 積み木を積む
- 指差し-----定位・要求・可逆
- 三項関係
- 歩行の完成

指差しがないときは？
単語が少ないときは？

1歳頃に取り組んでほしいこと

子:かんしゃくへの対応、しつけ、
ハイタッチでほめる

親:夫婦の善悪の対応

環:道路の歩き方(手をつないで歩く)
環:乗り物の利用

指さしの促し方



指示が入らない + 下記の様子

- ずっと泣いている
- 親から離れない
- 部屋の中を動き回っている
- 造語を話している
- おもちゃで遊び大人に関心を示さない
- やりたいことを制止されてパニックになる

自閉スペクトラム症が疑われたら

「〇〇して」「できた！タッチ」を1日50回

📅 (2週間～1か月)

手遊びを毎日やる「トントントンひげいさん」

📅

「〇〇さん！」と呼んで「はーい」でハイタッチ

📅

口真似「バナナ」を「バ・・・」で「言えたね！タッチ」

(この間に療育の場所を決める)

平岩幹男著より

<人に気づかせる>

- ①ほっぺ、首の後ろ、お腹をこちょこちょ
- ②スプーンを打ち付ける:机トントン:ハイと手を挙げる:バンザイ:
パチパチ:タッチ:おなかポンポン:
- ③触る:おみみ・おくちを触られるのをいやがる場合は肘や腕の後ろから触る、手をさわるのになれる、「ちょっと触るよ」の声掛け
- ④子どもの両手を大人の頬か耳にあてて、ハミングする
- ⑤手遊び歌、「ひげいさん」
- ⑥クレーン 手をとられたらスイートスポットを触る
- ⑦特定の物へのこだわり 物にさわ리카ッコいい、かわいいと声掛け

(平岩幹男著より)

療育が始まったら

- 療育に通えているかどうか
- 療育でどんなことをしているかどうか
- 家庭でどんなことに取り組んでいるかどうか
- 簡単な発達チェックを行う
- 保護者を支える

ことばの遅れのワンポイントアドバイス

指示理解はあるが言葉が少ない

・動作に言葉を添える 「くっく、履こうね」など

・「〇〇とって」などお手伝いをしてもらいながら単語を覚えていくかチェックをし、単語を覚えていなければ指差しして教える

集団生活の準備

- 座ってられること
- 模倣ができること
- 癩癩をおこさないこと

3歳頃に取り組んでほしいこと

子:子どもの毎日のお手伝い

環:経済状況(集団生活に入れているかどうか)

環:食生活の確認

身長や体重が測れなかったとき

初めてのことが苦手、場所みしりのある子ども達には、子どもに1日の予定や次の行動を予告しながら、生活に見通しを持たせるようにしてあげることを助言する。

3歳児健診の発達チェック項目

- 視聴覚検査
- 言葉「お名前は?」「お年は?」
- 視線があうか
- 落ち着かず動き回らないか

言葉が少ない

療育が必要であることを伝えただけで、家庭での取り組みとして絵本読みや、家族の日常会話を言葉のシャワーとして聞かせてもらう。もし、文字や数字に興味があれば遊びに取り入れて獲得させるように助言する。

気になる様子

- ずっと泣いている
- 身長・体重が測れない
- 親から離れない 抱っこされたままにいる
- 服を脱ぎたがらない
- 隣の健診に口をだす
- 質問に答えない

健診の場で話さない

日常生活でも話さないときには、無理に話させようとするのではなく、場面に応じた言葉を大人が代弁してあげ、子どもが安心する環境を作るように助言する。

自閉症スペクトラム症が疑われるとき

- 余計なおしゃべりをする
 - 理屈っぽい
 - 指示に従わない
 - 下肢の使い方が下手
 - 姿勢が保てない
 - 話さない
- ＜質問＞
勝手にいろいろ話してくれましたが、マイペースですか？
ケンケンが上手ではなかったけど、運動が苦手ではないですか？

ADHDが疑われる

落ち着きがない子どもへの対応

- ほめる
(うまくできたことだけでなく、やったこともほめる)
- 怒られないように工夫する
(片付けしやすいように工夫する)

自閉スペクトラム症が疑われる

マイペースや頑固な子どもへの対応

- 事前に予告をする
- 間違いをその場で修正してあげる
- 主導権を子どもに渡さない
- 生活の流れを一定にする

知的発達障害が疑われるとき

- 質問に答えられない
- 上下肢の使い方が下手
- 黙ってニコニコ笑っている

＜質問＞
園で先生のお話はちゃんと聞いていますか？
園でみんなと一緒に動いていますか？
園のことをお家で話しますか？
運動は好きそうですか？

AD/HDが疑われるとき

- 上肢の使い方が下手
 - 自分勝手に動かす
 - 20秒の閉眼できない
 - じっとしてられない
- ＜質問＞
手の動きが上手ではなかったけど、不器用？
勝手に動かしてしまったけど、先生の話は最後まで聞けてますか？
20秒閉眼できなかつたけど、落ち着きは？

知的な遅れが疑われる

発達が遅い子どもへの対応

- 絵本読みをして概念を育て、語彙を増やす
- 身辺自立を確実に

親に自閉スペクトラムが疑われる

- ・マイペースで助言が入りにくい
- ・たとえ話が通じない
- ・ママ友と仲良くできない
- ・予定通りに進まないと不安になる
- ・決まり通りに育児をしようとする

乳幼児健診で気をつけていること

- 健診場面での子どもの様子を基にして説明すること
- 子どものつまずきを話す時には、必ず対応もセットにすること

親にADHDが疑われる

- ・予約を忘れたり、遅刻をする
- ・助言をあれもこれもやろうとして失敗する
- ・指導が続かない
- ・家事をこなせない
- ・片付けができない

一般診療の場面で気になるとき

親に知的障害が疑われる

- ・日常の食事や着脱などの世話ができない
- ・病気やケガの対応ができない
- ・事故防止や生活リズムなどの環境を作れない
- ・乳児健診や予防接種など予定が組めない
- ・子どもの様子をうまく説明できない

待合室

- 周囲を気にすることなく一人でブロックを並べ、中断されたり、他の子どもが触るとパニックをおこす子
- 保護者を気にせず、院内を散策する子
- 待合室ですずっと泣いている子
- 椅子の上に立ったり、椅子の上を飛び歩く子
- 受付の物に興味を持ち「これなあに？」と触ってくる子

診察室

- 診察室に泣いて入ってきたり、保護者に抱っこされて入ってくる幼児
- 保護者の膝の上でしか診察させない4歳以上の子
- 診察室の物をみて「何でコンピューターあるの?」「これ何するの?」と次々に質問する子
- 机の聴診器や時計などを勝手に触り始める子
- 「注射しないでください」「のどに入れないでください」と大人びた調子で話しかけてくる子
- まったく話をしない子
- 毎回同じ質問や相談をする保護者

6歳児健診をお受けください

内容:身体計測
日常生活 (睡眠・食事・運動)
学習準備
集団生活
メディア関連



処置室

- 「何するの?」と保護者にしがみついて離れない子
- 暴れてスタッフを蹴り飛ばす子
- 逃げ回る子

6歳頃に取り組んでほしいこと

子:就学準備(生活リズム、絵本から児童書に移行していく準備)

親:家庭の環境整備(子ども部屋はまだ、ルール)

環:人間関係の広がり(属性の異なる集団、地域での活動)



一般診療で気をつけていること

- 1 「育てにくさ」の心配に耳を傾ける
- 2 保護者と事実の共有
- 3 困っていること、心配なことの確認
- 4 対応策を考える
- 5 子どもの周囲の人との事実の共有

あせらない、急がない、タイミングをはかる

小3頃に取り組んでほしいこと

子:計画を立てて実践する(宿題、お小遣い)

子:異性の親とのかかわり方を考える

子:学習習慣の見直し

親:10歳の壁を理解する



10歳(1/2成人)健診をお受けください

内容: 身体計測 (肥満・やせ)
日常生活 (睡眠・食事・運動)
集団生活
メディア関連
成人病リスクチェック(血圧・血液検査)
その他オプションで
・OD(起立性調節障害)チェック
・アレルギー検査 等



強調しすぎの落とし穴 (北原信先生)

普通の子どもを強調しすぎ

- ニーズを満たすのに特別な困難を無視
- 普通の子として扱いさえすれば良い
- 普通児の集団に入れさえすれば良い
- 失敗経験の繰り返し→自信喪失、自尊心の欠如

中学生で必要なこと——どれかひとつ！
学習 部活 友人

社会人になるとき必要なこと——態度はすぐには無理！
知識 技術 態度

社会でつまずくとき——支える人を！
就職 結婚 昇進

強調しすぎの落とし穴 (北原信先生)

特別な子どもを強調しすぎ

- 普通の子としてのニーズを無視
- 障害児として紹介→何をしても良いか聞かれる
- 特別な子で、少数の専門家しかみれない
- 専門家に任ず→親・保育士・教師から児を奪う
- 特殊扱いのため、地域からの隔離
- 施設・養護学校等へ

障害児とは (北原信先生)

他の子どもと異なったニーズを持った
特別な子どもと考えるべきではなく、
通常の子どもの持つニーズを満たすのに
特別な困難を持つ

普通の子ども

子育ての目標は

自己評価(セルフ・エスティーム)を高める
自分はある力がある
自分を守ってくれる人がいる
自分は大丈夫

保護者: 子どもを信じてあげること
関係者: 親子を支える